

要申込

図書館後援会主催

ライブラリーリーディング(朗読会)
2階 多目的ホール 9月5日(土)

柏崎図書館後援会の主催による朗読会が開催されます。『かしわざき朗読サークルたろうの会』の皆さんによる朗読を聞きながら、物語の世界をゆっくりとお楽しみください。

- 出演 かしわざき朗読サークル たろうの会
- 時間 13:30~15:30(13:00開場)
- 定員 50名(要申し込み・先着順)
- 参加費 無料



要申込

絵本・こどもフェスタ2026
人形劇『三びきやぎのがらがらどん』
2階 展示ホール 9月13日(日)

“人形劇団プーク”による、見応え抜群の二本立て人形劇です。デジタルな日常を少し離れ、親子で名作絵本の世界を体感しましょう！

- 時間 14:00開演(13:30受付開始)
- 定員 180人(抽選)
- 参加費 1人700円※2歳以下は無料



申し込みや詳細は
図書館ホームページ
から

絵本とお話の会

「エッツ」によるおはなし会
2階会議室2 15:00~15:40
9/6(日)

絵本の読み聞かせとおはなしを語ります。
親子でどうぞ。

「絵本を楽しむ会」のおはなし会
1階えほんのへや 15:00~15:40

8/22(土) 9/26(土) 10/24(土)
親子で一緒に本に親しめる内容です。

ソフィアセンター上映会

2階 多目的ホール
開場:13:00 上映開始:13:30

日程や上映会プログラムは
館内に設置してあるお知らせ
せやホームページをご確認
ください。



図書館ホームページ
上映会のお知らせ

休館日

8/16(日) 9/20(日) 10/18(日)

ソフィアセンター職員のおはなし会
1階えほんのへや 10:30~10:50

8/12(水) (乳幼児向け)
9/9(水) (乳幼児向け)
10/14(水) (乳幼児向け)



図書館ホームページ
催し物のお知らせ

1階えほんのへや 11:00~11:30

8/5(水) (幼児向け)
勇気や挑戦の『ぼうけん』がテーマです！

Sophia
ソフィアだより

2026年
夏
No.14

Sophia Center 30th Anniversary



ありがとう
開館30周年

since 1996

柏崎市立図書館(愛称:ソフィアセンター)は、開館30年という記念すべき節目を迎えました。30年前の開館以来、ソフィアセンターはただ本を借りる場所にとどまらず、子どもから高齢者まで誰もが気軽に集える、地域のコミュニティとして大きな役割を果たしてきました。静かに読書に没頭した時間、調べものを通じて新たな知識に出会った瞬間、学習室で一緒に勉強した親友とのひととき、そしてイベントで心を躍らせ、展示会の作品に見入り、上映会では涙を流した思い出など、この場所で紡がれた数々のドラマを見守り続けてきたのです。ささやかながらも、みなさんの暮らしを豊かに彩る一助となっていたのであれば、ソフィアセンターが歩んだ30年間は、この上なく幸福な時間であったといえるでしょう。

30年前の開館時には約18万点だった所蔵資料は、現在では約32万点に達しています。時代が変わっても、手から手へと本を渡す温もりと、そこから広がる無限の世界は、いつまでも変わらない温かな雰囲気を作り出してくれます。これまで紡がれてきた時間と、みなさんから愛され続けた温かな雰囲気は、かけがえのない大切な財産です。

明治38(1905)年の創立から120年余り、図書館の灯りは決して消えることはありませんでした。これからも灯りを消すことなく、多くの方々に愛されながら、次の10年、20年、そして50年先、100年先へと歩みを進めていきますように。30年間、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。



刈羽郡総合病院が平成3（1991）年に移転し、街の中心部に空いたスペースをどうするのか、多くの市民の関心が集まりました。当時は中心部の活性化が叫ばれ、街の賑わいや集客に寄与する施設が望まれていました。様々な検討を重ね、最新で賑わいのある図書館を目指し、建設が始まりました。

事業着手後には愛称の公募も開始し、平成6（1994）年1月に「ソフィアセンター」を採用決定しました。「ソフィア」はギリシャ語で「知恵・叡智」を意味します。情報を集積し、発信する施設として、この名を冠する図書館が開館しました。

平成8（1996）年7月6日 ソフィアセンター開館



1階総合カウンター



児童コーナーでの紙芝居

ソフィアセンターの建設にあたっては、多くの方々からいろいろな要望が寄せられました。その結果、市内随一の展示ホールの設置、バリアフリーへの対応、ハイビジョンホールの設置、休憩コーナーの設置と福祉団体による喫茶・軽食の提供など、従来の図書館にはなかった機能や設備を満載することとなりました。その他にも、開館時間の延長を、駐車場の拡充を、電算化等の実現を、新刊図書の充実と雑誌数の増加を、学習室機能の継続を、児童書も大人の本もワンフロアで等々の要望も実現され、市民が待ち望む施設となりました。

そして、平成8（1996）年7月6日、朝から開館を待ちわびる大勢の市民が玄関前に列をなし、大きな期待の中で、ソフィアセンターが開館しました。



待望のテープカット

左から丸山市議会議員、田口新潟県生涯学習課長、西川市長、渋谷新潟県立図書館長、近藤教育委員長



2階遊具コーナー



2階ハイビジョンホール（現在の多目的ホール）



北側玄関前のアプローチ

開館して間もない頃のソフィアセンター

「読みたくなる本！」2026年度 新潟県すいせん図書

「新潟県課題図書読書感想文」を引き継ぎ、子供たちに読書の楽しさを伝えるために2024年に誕生した「新潟県すいせん読書」。親子での読み聞かせや、一人での読書など、それぞれのペースでぜひ楽しんでください。

◆2026年度 新潟県すいせん図書

小学校低学年	・いつのまにか友だち ・犬のふくびき ・おばけのアッチ くるくるピザコンクール ・どろろん ようかいの森 夏まつりとナゾの少年 ・なんだか ちがう いぬうえくん ・ラクちゃんとおはなしのろうそく
小学校中学年	・犬にかまれたチイちゃん、動物のおいしゃさんになる ・じごく小学校 うそつきは転校のはじまり ・セラピー犬ジョン こども病院のきせき ・マジでサイアクな1週間！ 月曜日 やらかしまくりの転校生
小学校高学年	・神さまの通り道 よみがえらせてはいけません ・スタート ・走れメロス ・妖花魔草物語



「じごく小学校 うそつきは転校のはじまり」

有田奈央/作
安楽雅志/絵
ポプラ社
（913 アリ）

「じごく小学校」に体験入学した、いたずら好きな板図良さん。友だちに学校での出来事を話したけれど、だれも信じてくれず「うそつき」呼ばわり。そんな中、鬼の子のルリちゃんが転校してきて……!? さらに、じごく小学校でもらったひみつのペンを使ってみると、学校は大パニックに！ いたずらが招いた、とんでもない結果とは？

選りすぐりの18冊！

第72回青少年読書感想文全国コンクール課題図書2026

今年の課題図書は、いまの子どもたちに知ってほしいテーマや視点が詰まった選りぬかれた18冊です！



『原爆の子』（1951年初版 岩波書店）という本を知っていますか？世界中で翻訳され、映画化もされた広島市の被爆少女の手記です。今回ご紹介するこの本では、最晩年を迎えた執筆者らが「原爆の子」として生きてきた80年間を、等身大の言葉で語りおろします。戦争被害者の声を聴き、今私たちが生きている世界を見つめ直してみませんか。

課題図書紹介

『平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた80年』
早志百合子/著 毎日新聞出版 （916ハヤ）



読書感想文
全国コンクール
公式サイト

小学校低学年	・まこちゃんとコトバロボ ・なにかいいことあった？ ・ララのまほうのことば ・たねはいのちのおわりとはじまり
小学校中学年	・まだまだここから ・それからぼくはひとりで歩く ・おいしいお米を作りたい！ ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました ・宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ
小学校高学年	・ポジション！ ・リヒト！ ・ミシユカ ・キミの一步アフリカ ゾウを食べるにはひとロずつ
中学校	・君の火がゆらめいている ・チーム・テストならだいじょうぶ ・リュウグウの砂に挑む チームで小惑星のサンプルを分析
高等学校	・スイッチュ！ ・ノアハム・ガーデンズの家 ・平和のうぶごえ 「原爆の子」として生きた80年

◆第72回 青少年読書感想文全国コンクール課題図書